

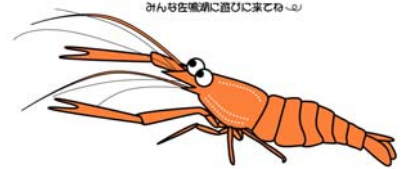
みんなで佐鳴湖を調べよう!!

# 佐鳴湖 水質調査

## 「春」(第39回新しい湖の評価基準)

日時：2017年5月20日(土) 9:00~12:00  
(雨天延期時 5月27日(土) 9:00~12:00)

集合場所：佐鳴湖西岸漕艇場(下記地図参照)



内 容：佐鳴湖の水質や水辺空間を、多様な視点で評価します。

佐鳴湖では、地域の皆さんと行政が一体となり、流域全体で水環境向上対策を進めております。その結果、水質の目標指標の一つであるCOD値については、近年、着実に改善傾向を示しており、当面の目標値(8mg/L)をクリアするレベルに達してきました。

本調査は、COD値や透明度といった水質項目と併せて、湖に生息する生物や水のおい、ごみの量などを春・夏・秋・冬に地域の皆さんと一緒に測定します。これにより、多くの方々とともに多様な視点から佐鳴湖を調べ、佐鳴湖の実態を正しく知っていただくとするものです。

佐鳴湖を“体感”しながら、一緒に佐鳴湖を調査しましょう。

申込み：一般の参加者は直接、小中学生が参加する場合は学校単位でまとめて頂き、申込書を5/12(金)までに提出願います。

定員：100人(大人含む)程度

**※当日飛び入り参加可能です。**(参加者全員に保険加入しますので、できるだけ事前に申し込みをお願いします。)

参加資格：小学生以上 \*小学生のみで参加する場合は親の同意を得てください。

集合場所：佐鳴湖西岸 漕艇場前

集合場所及び  
臨時駐車場



持ち物：動きやすい服装、飲み物、帽子、タオルなど

主催：佐鳴湖地域協議会

協力：静岡大学工学部

申し込み及び問合せ先

○佐鳴湖地域協議会

(事務局) 静岡県浜松土木事務所 企画検査課(担当：渥美)

TEL：053-458-7266 FAX：053-458-7193

e-mail：hamado-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

# 【佐鳴湖 水質調査「春」(第39回新しい湖の評価基準) 参加申込書】

※Eメール又はFAXにて本紙をお送りください。

(ふりがな) 参加団体名	
(ふりがな) 代表者氏名	
代表者住所	
代表者電話番号	
緊急連絡先(携帯電話)※	
代表者FAX番号	
代表者Eメール	

※ 荒天時は中止します。中止の場合は午前7時30分までに、代表者の方に御連絡します。

番号	参加者氏名	年齢層
(例)	山田太郎	大人・学生・ <input type="checkbox"/> 小中高 4年
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

# 佐鳴湖水質調査場所マップ



## 佐鳴湖 新指標水質調査 当日スケジュール

8:30	スタッフ集合・当日スケジュール打ち合わせ・受付開始		
9:00	参加者集合・センター長挨拶		
9:05	調査経緯・方法の説明		
9:10	班分け		
9:20	調査デモンストレーション(透視度、DOパックテスト、CODパックテスト、クロロフィルの簡易確認)		
ここからは、各班に分かれて行動します。			
A班(リーダー:A氏)		B班(リーダー:B氏)	
9:30	行動開始	9:30	行動開始
移動(徒歩)		①漕艇場 調査開始	
9:45	③佐鳴八景歌碑 調査開始	10:15	" 終了
10:30	" 終了	移動(徒歩)	
移動(徒歩)			
10:45	④西岸時計塔前 調査開始	10:45	②入野漁協船着場 調査開始
11:30	" 終了	11:30	" 終了
移動(徒歩)		移動(徒歩)	
12:00	調査票を受付に提出して完了		

## 新しい湖の水質調査マニュアル

### ○ゴミの量

調査地点の周辺を見回してゴミがあるか確認してください。不快か気にならないか各自、判断してください。

### ○水のおい

すべてのにおいがくさいとは限りません。嗅いでみて不快か不快でないか各自、判断してください。

### ○水の透明さ、色

湖の水際を良く見て、何色か判断してください。選択肢に色が無い場合は近い色を選んでください。

### ○アオコの発生

アオコとは、藍藻プランクトンの大量発生したものが水面に浮いてきたもので、水面に緑色の粉をまいたり、ペンを流したりしたような状態になったものです。

### ○湖底の様子

湖底の土や石を掘り出して岸に揚げて観察します。近くによってにおいを嗅いで見たり、色や形から不快か不快感がないか各自、判断してください。

### ○水辺の植生(水生植物)

水辺の植生は、生物のすみかになったり、水をきれいにしたり、湖の環境にとっても重要な役割をはたしています。皆さんの目で見て、水生植物が多いか少ないか、また、好ましいと感じるかどうか、判断してください。

### ○水辺の音

目を閉じて、耳をすませて音をきいてみましょう。自然の音と人工の音、どちらが多く聞こえるでしょうか。

### ○透視度

測定器を各班で用意しています。湖岸から水をくんで、管の底の印が見えなくなるまで入れてください。

管の下部にあるコックをひねり、水を少しずつ抜いていきます。

印が見えるようになったらストップ。そのときの水深が透視度になります。

### ○簡易DO(溶存酸素)

DOとは、水の中に溶けている酸素の量をあらわします。たくさん酸素があると生き物が呼吸し易いので、いい環境といえます。逆に少ない(2.0以下)と、生き物は息苦しくて窒息死してしまいます。

### ○簡易COD(化学的酸素要求量)

CODとは、水の中の汚れ(有機物)を化学的に分解するのに必要な酸素の量で、汚れが多いほど値が大きくなります。佐鳴湖は、全国の主な湖と比べてCODが高く、汚濁しているといわれています。

### ○クロロフィルの簡易確認

クロロフィルaとは、植物プランクトンがもっている緑色の色素です。クロロフィルaが多いほど緑色が濃くなり、植物プランクトンが多いことが分かります。

また、雨の降った後などに泥水が湖に流れ込むと、茶色い濁りが強くなってきます。

水をろ過して、ろ紙がどのような色になるか「色見本」と比べてみて、一番近い色の番号を選んでください。

### ○生物調査(水生生物)

ペットボトルでつくった仕掛けやタモ網を使って、佐鳴湖に生息している生き物を採取してみましょう。水生生物は何種類確認できるでしょうか？